

■U12 オフェンスゲームモデル：5アウトオフェンスがベース

<コンセプト>

誰しものが将来のアウトサイド選手の可能性・誰しものがドリブルプッシュの経験を

トランジションスペーシングのルール例

- ・ リバウンドをとった選手がドリブルプッシュ
- ・ リバウンドをとらなかった4人のうち、一番フロントコートに近い2名が両コーナーを目指す
- ・ 次の2名が両ウイングを目指す
- ・ ドリブルプッシュはセンターサークルを目指す

☆ 両コーナーを目指したランナーは、ディフェンスを追い越せた場合はゴールへ向かって走る

☆ ドリブルプッシュがサイドライン寄りになった場合、両ウイングを目指していたランナーのうちドリブラーに近い方はラインを変えてスペースを保つ

☆ リバウンドをとった瞬間にまわりが狭かったら、近くの味方へのパスも選択できるように導く

■U13 オフェンスゲームモデル：5アウト → 4アウト1インへ

<コンセプト>

誰しものが将来のアウトサイド選手の可能性・誰しものがドリブルプッシュの経験を

U14の4アウト1インスペーシング、ピック&ロールオフェンスへのつながりを意識する

トランジションスペーシングのルール例

- ・ 5番は基本的にリムランナーになる（5番ポジションを固定すると分かりやすいが、その選手がドリブルプッシュの経験を積めないリスクを考慮することも重要）
- ・ リバウンドをとった選手が1～4番の場合はそのままドリブルプッシュ→残りのアウトサイド3枚は、フロントコートに近い2人がそのまま両コーナーへ向かう
- ・ リバウンドを5番がとったら近くの1～4番の選手がパスを受ける→パスを受けない3名は上記と同じ
- ・ 両コーナーに向かったオープンレーンランナーとドリブラー以外のもう一人のアウトサイド選手は、ドリブラーと逆サイドのレーンラインを走る
- ・ ドリブルプッシュはセンターサークルを目指す

☆両コーナーを目指したランナーは、ディフェンスを追い越せた場合はゴールへ向かって走る

☆リムランナーの走るコースは、ミドルラインを走るか、少し角度をつけて走るかは要検討

☆アウトレットパスを出す際は、レシーバーはリバウンドが落ちたサイドの選手が行うとよい